

スポンサードセミナー 9

最新テクノロジーが可能にする
FACE & INNER Rejuvenation

2023年 8月20日 日
13:10~14:10

第6会場 京王プラザホテル新宿

共催

第41回日本美容皮膚科学会総会・学術集会

Fotona Japan 株式会社



www.fotona.com info@fotonajapan.co.jp

座長

みやた形成外科・皮ふクリニック 院長

宮田 成章 先生



SS9-1

みやた形成外科・皮ふクリニック 院長

宮田 成章 先生

たるみ治療次の一歩～「Tランナー」によるリフトアップ2023～



SS9-2

Docteur Rygaloff, Cliniskin Laser & Esthétique 院長

Nicolas Rygaloff 先生

マルチパルスEr:YAGレーザーを使用した
SCAR治療(ScarLase®)と毛髪治療(HAIRestart®)



SS9-3

千春皮膚科クリニック 院長

渡邊 千春 先生

高強度テスラ磁気刺激(HITS®)治療器を使った
フェムゾーン治療について2023



スポンサーセミナー 9

最新テクノロジーが可能にする FACE & INNER Rejuvenation

座長 河野 太郎 先生 (東海大学医学部外科学系形成外科 教授)

SS9-1 たるみ治療次の一手～「Tランナー」によるリフトアップ2023～

みやた形成外科・皮ふクリニック 院長 宮田 成章 先生

現在、たるみに対しては様々な機器を用いた治療が行なわれている。ただし、多くの機器はフェイスラインの引き上げなどを主とした効果で、鼻唇溝や目の下への効果は短期間にとどまるか、不満足なものとなることが多い。

当院ではその解決策の一つとしてFotona 社製 SP Dynamis Pro を用い、Er:YAG レーザーの断続的な長パルス発振 smooth mode にて皮膚と口腔粘膜から両方から照射するサンドイッチ照射方法を用いている。これによりフェイスラインから鼻唇溝まで、従来の機器では得られなかった効果を得ることができるようになった。特に最近登場した高性能のスキナーを用いて皮膚表面に蓄熱させて引き締め効果を発揮するTランナーによるリフト効果は、従来のEr:YAG レーザーの蒸散を主としたものとは全く異なり、ノーダウンタイムでかつ強い光熱作用を生じさせることが可能である。この照射では麻酔外用剤を塗布して疼痛をコントロールできるというメリットもある。

ここ数年停滞気味である機器によるたるみ治療の次なる一手として、皮膚からのTランナーと粘膜照射のサンドイッチ照射でどのようなことができるのか、この機器の様々な基礎実験データとともに臨床結果を供覧したい。

SS9-2 マルチパルスEr:YAGレーザーを使用したSCAR治療(ScarLase®)と毛髪治療(HAIRestart®)(日本語講演)

Docteur Rygaloff, Cliniskin Laser & Esthétique 院長 ニコラ・リガロフ 先生

今回の発表では、Fotona SP Dynamis Er:YAG レーザーのアブレーションモードを使用した瘢痕治療とノンアブレーションモード(スムーズ®パルスモード)を使用した発毛治療についてお話します。

瘢痕修正はしばしば困難であり、時には不可能であり、特に美容整形において、患者が手術を行ったことを後悔する可能性のある痕跡を残すことがあります。私の開発した傷跡修正テクニックは、2つのステップで構成されます。1つ目は過剰な線維性組織を除去するステップ、2つ目は線維組織の代わりに正常な皮膚の再成長を刺激するステップです。一般に、満足のいく結果を得るには、3-4回のセッションが必要です。線維組織が傷跡表面に残っている限り、正常な皮膚は再生できないという理論に基づき、治療は、通常6か月以上経過した傷跡に適用しますが、必要に応じて早期に治療を開始することもできます。

Fotona Dynamisの臨床応用として、スムーズ®パルスモード(ノンアブレーションモード)を使用した発毛刺激治療があります。従来の薄毛治療は、主に3つのメカニズム：毛根周囲の血流改善(ミノキシジル)、DHTの生成抑制(フィナステリド、デュタステリド)、組織再生と卵胞刺激(PRP)で行われています。スムーズ®パルスで照射した場合、頭皮にダメージを与えることなく、強い組織刺激と再生効果を発揮し、血流の即時増加、血管新生、コラーゲンI型、III型、細胞外マトリックス産生の増加を伴う線維芽細胞の増殖、Wnt/ β -Cateninシグナル経路の活性化による毛包のアナジェン期の延長、カタゲン期の制御効果を生みます。同じシグナル伝達経路が毛乳頭細胞にも作用し、毛乳頭細胞の成長と新しい毛包への分化を刺激し、結果、従来の治療法では得られなかった毛包や周辺構造への独自の効果を生み出し、単独治療として、あるいはPRPやミノキシジルとの併用治療の一部として効果を発揮します。当院では、Fotonaスムーズ®パルスレーザーを2週間に5回照射した結果、患者さんに以下の効果「抜毛の停止」「劇的な抜け毛の減少」「髪のボリューム・ハリ・コシのアップ」「毛髪の成長のリスタートまたは促進」「頭皮の肌質改善」が観察されました。

SS9-3 高強度テスラ磁気刺激(HITS®)治療器を使ったフェムゾーン治療について2023

千春皮フ科クリニック 院長 渡邊 千春 先生

高齢化に伴い、加齢によるさまざまなリスクや疾患があらたに定義されています。

フレイル(虚弱)は、高齢期に生理的予備能が低下することでストレスに対する脆弱性が亢進することをいいますが、特に女性では、閉経に伴い女性ホルモンレベル低下が認められ、ADL(Activities of Daily Living:日常生活動作)やQOLの低下に影響する認知症、骨粗鬆症のリスクが高まります。閉経後性器尿路症候群(GSM)は、腔壁全体が萎縮傾向になることにより、腔の違和感や疼痛、不正性器出血、同様に外陰部の違和感・疼痛や尿道付近の不具合が生じることを言い、閉経後の女性のADLやQOLを著しく下げる原因の一つと考えられます。

今回使用した高強度テスラ磁気刺激機は、High Intensity Tesla magnetic Stimulation(HITS™)を用いて非侵襲的に末梢神経を刺激し、骨盤底筋と背筋、仙骨神経、膀胱神経を同時に刺激し、繰り返して施術することで、効率よく骨盤底筋を強化し、尿失禁や便失禁を治療します(INTIMAWAVE)。また、磁気刺激のパターンを変更することによって(TIGHWAVE)効果的に筋肉を引き締めてボディシェイプを実現します。この治療は着服し椅子に座った状態で行えることが最大のメリットのひとつと考えます。

当院では昨年2月に導入し、パイロットスタディとはなりますが、尿失禁や腔の緩みを主訴とした患者さまに用いて一定の効果を認めており、機器のご紹介とともに供覧させていただきます。